

数値目標に対する令和6年度の評価結果

数値目標①

- 子どもが生まれた女性職員の育児休業取得率 100%を維持します。

令和5年度：100%

令和6年度：100%

今後の取組

目標達成を維持するため、各種取組を継続します。

数値目標②

- 計画期間中に妻に子どもが生まれた男性職員の育児休業取得者を20人にします。

令和5年度：26人

令和6年度：31人（令和6年度に妻が子どもを出産した男性職員58人
→取得率53.4%）

※累計で112人（進捗率560%）となった。

今後の取組

次期計画（鈴鹿市職員子育て支援計画）では、「妻に子どもが生まれた男性職員の2週間以上の育児休業取得率85%」を目標項目としています。今後も、育児休業取得率制度の趣旨・内容・変更点等を周知するとともに、取得経験者の体験談を伝えるなどし、育児休業の取得促進に努めます。

数値目標③

- 妻に子どもが生まれた男性職員の出産補助休暇取得率90%以上を達成し、維持します。

令和5年度：84.5%

令和6年度：87.9% ⇒（未達成）

今後の取組

目標達成に向け、制度の趣旨・内容等を周知し、引き続き取得促進に努めます。

数値目標④

- 妻に子どもが生まれた男性職員の育児参加休暇取得率70%以上を達成し、維持します。

令和5年度：64.8%

令和6年度：75.9% ⇒（達成）

今後の取組

目標達成を維持するため、引き続き制度の趣旨・内容等の周知に努めます。

数値目標⑤

- 職員の年次有給休暇の年間平均取得日数を 15 日以上にします。

令和5年度：15.6 日

令和6年度：16.0 日 ⇒（達成）

今後の取組

次期計画（鈴鹿市職員子育て支援計画）では、「年次有給休暇を 15 日以上取得した職員の割合 80%」を目標項目としています。

目標達成に向け、引き続き制度の趣旨・内容等の周知に努めます。